



福島県立浪江高等学校

校是 「知性・優雅」

「知性」：物事を知り、考え、判断する力

「優雅」：上品さ、礼儀正しさ

<教育目標>

- 社会に通用する学力・態度・マナーを養う
- 生徒の希望進路実現を強く支援する

「たくましい心を育てる学校を目指して！」

ふるさと浪江をあとにして復興6年目となる平成28年度、本校は福島県立本宮高等学校の仮設校舎での五度目の春を迎えます。平成23年5月から安達・好間サテライト校で教育活動を再開し、24年4月にはこの本宮にサテライト校が集約されました。平成24年度47名、25年度20名、26年度5名、27年度13名の卒業生がこの学舎から巣立っていきました。今日に至るまで県内外から心温まる多大な御支援をいただき、深く感謝申し上げます。

本校はこれまで校是「知性・優雅」の精神に示された自主的態度を育み、確かな学力を身につけさせるとともに、自律性・社会性を育て人に優しく思いやりのある、心豊かな生徒を育成してまいりました。この本宮サテライトでは、故郷の復興に貢献できる人材の育成を目指し、ボランティア活動や様々な資格取得に特に力を入れております。

仮設校舎での何かと制約のある教育環境ではありますが、この地域の特性や利便性を生かした教育活動を通して「浪江高校に入学して良かった」「本宮サテライトでの学校生活は充実していた」と生徒が感じられるように、充実感や達成感を醸成してまいります。本校は残念ながら、平成29年3月をもってしばらくの間休校となりますが、困難の中でもたくましく生徒が成長できるよう教育目標及び指導の重点のもと、生徒の自己実現に向けて指導・支援を行います。今後ともこれまで以上に、地域及び保護者の皆様の御支援・御協力をお願いいたします。

学校長 佐藤 京治

○ 魅力ある授業改善と基礎学力の定着

1 教員の自己研鑽を奨励

- ・校外等の研修に積極的に参加し、授業力の向上を目指します。
- ・年に一度、全教員が授業を公開し合い、積極的に研修する環境を作ります。

2 基礎学力の向上

- ・T Tや進路希望・習熟度別の授業を展開し、生徒の学ぶ意欲を喚起します。
- ・少人数を活かし、個に応じた指導や総合的な学習の時間を活用し、基礎学力を向上させます。

3 学習習慣の確立と学習環境の活用

- ・朝自習の時間を設け、また家庭学習記録表を活用するなど、学習の習慣の確立を目指します。
- ・多目的室の有効活用を促し、授業時や放課後の稼働率を向上させます。

○ 心に寄り添う丁寧な指導及び基本的な生活習慣の定着

1 生徒理解・教育相談の充実

- ・少人数を活かし、常に生徒に寄り添いながら生徒理解を深めます。
- ・生徒の悩みや不安を早期に解消するためスクールカウンセラーとも連携し教育相談を充実させます。

2 基本的な生活習慣の定着

- ・欠席・遅刻・早退を減少させるなど、環境の変化の中でも、自主的に生活できるように指導します。
- ・挨拶・正しい服装・規律ある健康的な生活等の習慣化を図ります。

○ キャリア教育の推進及び希望進路実現

1 キャリア教育の推進

- ・ビジネスマナー講座や「うつくしまふくしま未来支援センター」と連携し生徒のコミュニケーション能力を身につけさせるとともに、職場体験等により職業観を育成します。

2 ニーズに応じた情報の収集と提供

- ・生徒の特性に応じた進学・就職指導をするうえで適切な情報を提供します。

3 希望進路実現の支援及び実力の養成

- ・ガイダンス・講演会・見学会等によって進路意識の啓発に努めます。
- ・就職支援員の協力を得、生徒の希望に応じた就職開拓を図ります。
- ・各種資格取得を奨励し、対策課外により合格者の増加を目指します。

○ 特別活動・部活動・ボランティア活動の充実・活性化

- ・特別活動や部活動への支援体制を強化し、協調性や忍耐力を育成しながら、人格形成を図ります。

- ・サテライト協力校等との連携を推進し、各種行事や生徒会活動の充実を図ります。

- ・地域との交流等のボランティア活動を通し、地域の復興復旧に協力します。

生徒や保護者、地域の方々(県民)の期待と信頼に応えるため、本校教職員は教育公務員としての使命感を忘れず、組織マネジメントや校内服務倫理委員会等を機能させ、職員事故ゼロ・不祥事ゼロを実現します。